

## 「活用」の力を育てる評価問題

小1 国語  
よく聞いてあてよう  
「わたしは、なんでしょう」

### 評価問題例

ともだちの「これは、なんでしょう」クイズをきいて、もんだいをつくりましょう。

もんだいにするもの

もんだい

かたち  
おおきさ  
いる  
つかいかた  
そのほか

へはなしかた

### 評価問題のポイント

本単元の学習活動で学んだことを、同じ形式で再度取り組むことができるかどうかを問う問題である。高学年では、身に付けた知識や技能を違った場面に適応させて活用することが求められるが、低学年では、同じ形式の学習活動の中で、再度実行できることが重要である。

児童は、単元の学習活動として、自分自身でクイズを考えて出題する経験をしている。ここでは、その経験を別の題材に当てはめて、題材の特徴を考えて問題文を作り、話し方の留意点を書き出す作業を行わせる。出題者として身に付けた力を「活用」とともに、友達のクイズを聞いて、その内容を的確にとらえていることが求められる。

評価問題に取り組ませるに当たっては、十分な時間を取り、必要な場合は助言を与えるなどしながら無理なく進めるようにしたい。

本時の流れへ

授業展開例へ

単元の流れへ

HOME